

6・3 貨物の安全な積み付けおよび運送

6・3・1 危険物の運送

国際航海における危険品の海上輸送は、固体ばら積み貨物については国際海上固体ばら積み貨物規則(IMSBCコード:The International Maritime Solid Bulk Cargoes Code)、個品危険物(コンテナ)については国際海上危険物規程(IMDGコード)、液体ばら積み貨物については危険化学品のばら積運送のための船舶の構造および設備に関する国際規則(IBCコード)に詳細な要件が規定されており、IMOの貨物運送小委員会(CCC:Sub-Committee on Carriage of Cargoes and Containers)と汚染防止・対応小委員会(PPR:Sub-Committee on Pollution Prevention and Response)において、定期的な見直しが行われている。

1. IMDGコード(国際海上危険物規定)改正

同コードは、危険物運送の実態等に対応して2年毎に改正が行われており、第42回改正は、2023年9月に開催されたCCC9で審議され、概ね合意された。2024年5月に開催された第108回海上安全委員会(Maritime Safety Committee:MSC 108)にて採択された。

これらの国際海上危険物(IMDG)コードの改正は2026年1月1日に発効する予定であるが、一部の締約国は2025年1月1日よりこれらの改正(またはその一部)を任意で適用することができることとなっており、日本においても本改正を取り入れ、2024年12月27日に船舶による危険物の運送基準等を定める告示の一部改正が公布され、2025年1月1日から施行されている。

2. IMSBCコード(国際海上固体ばら積み貨物規則)改正

IMSBCコードは、穀類を除く全ての固体ばら積み貨物を対象に、2011年1月1日に強制化された。荷送人は船長に対し貨物の詳細な情報を提出し、船長は、物質ごとに定められた要件に従って運送する義務を負う。貨物種別としては、3種類に分類される。

種別 A : 液状化のおそれのある物質 (例:ニッケル精鉱)

*) 運送中に液状化した場合の危険性が特に高い為、特段の措置を要求

種別 B : 科学的危険性を有する物質 (例:石炭)

種別 C : AまたはB以外の物質 (例:鉄鉱石)

同コードに掲載されたもの、及び、荷積み国主管庁の承認を受けたもののみが船舶にばら積みして輸送できることとなっている。

このことから、コード未採用の貨物の詳細要件については各国からIMO提案が提出され、CCCにおいて審議、MSCにおいて採択されている。

IMDGコードと同様、2年毎に改正が行われており、第7次改正による最新のコードが2025年1月1日に発効し、日本においてもIMSBCコードを担保する関係告示、通達等が改正さ

れ、同日施行された。

国土交通省には、前回と同じく、1年前倒しの早期運用に関する要望書を提出済みであり、2024年1月1日より、早期運用が施行となっている。

6・3・2 ISO/TC104(貨物コンテナ)に関する対応

1. ISO/TC104(貨物コンテナ)の概要

国際標準化機構(ISO)の中で104番目に設置された専門委員会(TC)であるTC104は19カ国の正式加盟国(Pメンバー:業務に積極的に参画し、規格投票に対する債務および可能な限り会議に参加するメンバー)および31カ国のオブザーバー加盟国(Oメンバー:オブザーバーとして業務に参画するメンバーであり、意見提出、会議出席の権利を有する)にて構成され、貨物コンテナ、特に海上コンテナに関する標準化について審議している。傘下に3つの小委員会(SC)および10のワーキンググループ(WG)が置かれている。

当協会は、日本工業標準調査会(JISC:Japanese Industrial Standards Committee)の承認の下、TC104の国内審議委員会「ISOコンテナ委員会」の事務局を務めている。

ISO/TC104“貨物コンテナ”	(ANSI(米国規格協会))
SC1“一般コンテナ”	(AFNOR(フランス規格協会))
WG1“一般貨物コンテナ”	(AFNOR)
WG2“取扱いおよび固縛”	(AFNOR)
SC2“特殊コンテナ”	(BSI(英国規格協会))
WG1“冷凍コンテナ”	(BSI)
WG4“タンクコンテナ”	(BSI)
WG7“ドライバルク貨物コンテナ”	(BSI)
SC4“識別および通信”	(AFNOR)
WG1“コード、識別および表示方法”	(AFNOR)
WG2“コンテナおよび付属品に関するAEI”	(AFNOR)
AHG1“TC104再活性化”	(ANSI)<2022年新設>
CAG“委員長諮問委員会”	(ANSI)
WG9“ISO830(用語)改訂”	(ANSI)<2022年新設>

()内は事務局

2. ISO/TC104の活動状況

ISO/TC104年次総会は2024年10月31日にオンライン開催され、各SCの報告等が了承された。

傘下の SC、WG の会合については、以下の通り。(特記ない限り開催年は 2024 年)

SC1:総会を10月28日にオンライン開催。傘下 WG における作業を了承。新規項目なし

SC2:総会を10月29日にオンライン開催。傘下 WG における作業を了承。鉄鉱石輸送用
フラットコンテナの規格化について中国より提案あり。今後 TC 内で検討

SC4:総会を10月30日にオンライン開催。傘下 WG における作業を了承。新規項目なし

SC4WG1:10月9日にオンライン会合を開催。コンテナ機器間の電子データ交換に関する
ISO9897 改訂に関し検討

25年2月11日にオンライン会合を開催。コンテナ番号のマーキング等に関する
ISO6346 改訂に関し検討

SC4WG2:25年1月15日、2月5日、2月19日にオンライン会合を開催。スマートコンテ
ナ技術仕様案(TS25287)を検討。

2024年4月から2025年3月に以下4件のISO規格に係る改正案等の投票を実施した。

ISO1496-3(仕様・テスト:タンクコンテナ)に係る改訂開始<賛成>

NS ISO1161(すみ金具)改訂に係る委員会案(CD)<承認>

ISO1496-1(仕様・テスト:一般コンテナ)に係る改訂(リセス・テスト要件修正)案(FDA)<賛成
>

ISO830(用語)改訂に係る最終案(FDIS)<賛成>